

市長市政執行方針

定例会初日、山口市長は市政執行方針において、市政運営の基本姿勢について述べました。その一部を紹介します。

市政運営の基本姿勢

① 市民協働により、住み良い、発展がづく都市づくり

市民協働とは、言い換えれば郷土愛の発露であり、このまちに住んで良かったと真に実感できるのは、市民や隣人とともに参加・連帯する機会などによってもたらされる郷土愛を強く感じるときと考えています。

少子高齢化や人口減少など、社会経済情勢の変化に対応しながら、行政が主体となつて市民サービスや福祉の充実などを図ることは無論ですが、あわせて、市民と行政が共に市民協働による郷土愛を醸成しながらまちづくりを進めることが重要となります。

このことから、まちづくりの目標を「市民協働により、住み良い、発展がづく都市づくり」と掲げ、今後も市民一人ひとりが真に

夢を持ち、その夢が実現できる都市づくりを推進していきます。

② みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ

まちづくりの目標と取り組み方向を示す「千歳市第6期総合計画」は、平成23年度にスタートしましたが、中間年を迎える本年度内に内容を見直します。

平成32年度の将来人口を9万5千人から9万7千人に引き上げることで、まちの勢いや潜在力を市の内外に印象付け、さらなる発展の好循環につながることを期待しています。

まちの活力と発展が持続し、市民の皆さんが住み良さを実感できるよう「第6期総合計画」の着実な推進を図り、将来都市像「みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ」の実現にまい進していきます。

当面する課題への対応

① 地域経済の活性化

就労支援の推進、雇用の場の創出、地域の活性化や交流人口の拡大を図り、まちの成長・発展につながる取り組みの推進。

② 定住促進

定住人口の増加と交流人口の拡大につながる効果的な施策の推進。

③ 新千歳空港24時間運用枠拡大の対応

「発着回数増加による騒音の加重に伴った必要な対策が講じられること」を前提として、地域の方々の意見を丁寧にお聞きし、基本合意に向けた課題解決に取り組む。

④ 自衛隊体制強化

「千歳市における自衛隊の体制強化を求める期成会」や「北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会」と連携を図り、自衛隊と共存共栄するまちづくりを進める。

⑤ 持続可能な行財政運営

強固で持続可能な財政基盤の確立。公共施設等の更

新・統廃合・長寿命化等などの計画的な実施。財政負担の軽減・平準化を図り、効果的で効率的な行財政運営に取り組む。

重点施策と主な施策

重点施策

「3つの活力と3つの安心」を柱として、「経済・雇用」、「市民協働・地域活動」、「医療・福祉」、「子育て・教育」、「環境・防災」の5項目を重点施策として取り組む。

主な施策

① あったかみのある地域福祉のまち

・ 経済的な困窮などの課題を抱えた市民の早期把握と相談支援

・ 「あつたか灯油事業」の実施

・ 不妊治療費の助成制度の開始

・ 平成29年度の休日夜間急病センターの開設

・ 千歳市きずなポイント事業の創設

・ 転入親子ウエルカム交流ツアの実施

・ 全ての所得階層の保育料の負担軽減

・ 地域子育て支援センター

を10か所に拡大

- ・ 北陽小学校区に学童クラブを新設
- ・ 婚活パーティーや結婚を考えるセミナーの開催

② 人と地球にやさしい環境のまち

・ 従来の3霊園に加え、合葬式墓地によるお墓への二一づに対応

・ 管路長寿命化計画の策定に着手

③ 安全で安心して暮らせるまち

・ 市営住宅みどり団地3号棟の建設

・ 訓練移転が継続される場合、再編交付金の交付期間延長の取り組み

④ 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

・ 総合教育会議と教育委員会との連携による教育施策の推進

・ 学習支援員の増員による習熟度別少人数指導の充実

・ 全小学校へのデジタル教科書の導入によるICT教育の充実

・ 特別支援教育支援員の増員

- ・ 新たな学校給食センター建設の検討

- ⑤ 活力ある産業拠点のまち
 - ・国の交付金を活用したプレミアム付き商品券の発行
 - ・道の駅サーモンパーク千歳で市内の観光やイベント情報などの発信
 - ・合宿や大会などの誘致活動による交流人口の拡大

- ⑥ 都市機能が充実したまち
 - ・交通戦略プランの策定による交通ネットワークの充実

行政経営の基本目標

市民協働による
自主自立の行政経営

主な事業

- ・新たに協働化テストの要素を取り入れた市提案型協働事業など、10事業の協働事業の実施。

- ・市役所本庁舎の建物の強度不足や相談窓口などの狭あい化、災害時の防災拠点機能の充実などの課題を解決し、市民サービスの充実を図るため、第2庁舎の建設および本庁舎の耐震化に向けた取り組みの実施。

- ・市制施行60周年となる平成30年度を目的に「通史編（下巻）」を刊行する準備を進める。

教育行政執行方針

定例会初日、宮崎教育長は、平成27年度の教育行政執行方針について述べました。
その一部を紹介いたします。

教育行政の基本姿勢

- ① 未来へ飛翔・すべては子どもたちのために

千歳の未来を担う子どもたちが夢や希望を持ち、健やかに成長していくことが、私たちの最大の願いであり、その成長がまちづくりの原動力となります。

このことから、学校・家庭・地域が連携して、子どもたちの自己有用感を育くむとともに、安全で安心な教育環境の充実と、「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力」を育むための教育を推進し、知的な探究心を養い、積極的に行動する子どもたちの力を育てます。

- ② 学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち

少子高齢化や人口減少などによる社会の変化と個々のライフスタイルの多様化

の中で、市民が生きがいと潤いを持つて生き生きとした生活を送るため、千歳市の豊かな自然環境や生活環境、地域の教育資源などを生かした仕組みづくりが求められています。

このことから、一人ひとりの能力を生涯にわたって発揮できる活力ある生涯学習社会の実現に向け、生涯にわたる学習ニーズに応じた社会教育の充実、文化の振興、貴重な文化財の保護と活用、次代を担う青少年の健全な育成を図る環境づくりに取り組んでいきます。

教育重点施策

▼ 確かな学力の向上

千歳市学力向上検討委員会では、全国学力・学習状況調査の結果を分析し検証するとともに、「自己有用感を高める取り組み」と「学習内容の理解と定着を図る取り組み」の一層の充実を図る

必要があるとしており、各学校は、これを受け、個に応じたきめ細かな学習指導と学習習慣の確立など、学力向上の取り組みを進める。

▼ 教育環境の整備

安全・安心な教育環境を確保するため、学校施設の適切な維持管理を行うとともに、屋内運動場の非構造部材の耐震化、学校施設の大規模改修などを計画的に進める。

▼ 外国語教育の充実

全ての小中学校で外国人英語指導助手の参加による、外国語活動及び英語の授業を実施するとともに、国際感覚やコミュニケーション能力を身につけるための国際理解・国際交流事業など、外国語教育の充実を努める。

▼ いじめ・不登校対策

「千歳市いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめは人間として絶対に許されない」という確固たる認識と毅然とした態度で取り組むとともに、「いじめはどの子どもにも、どの学校でも起こりうるもの」という共通認識の下、学校・家庭・地域・関係機関と連携し、いじめ根絶

に向けた取り組みを進める。
また、不登校問題については、不登校児童生徒の一人ひとりの実態をきめ細かく把握し、学校内での情報共有と共通理解を図るなど組織的に進めるとともに、家庭や関係機関と連携して、学校復帰に向けた取り組みの充実を努める。

主な施策

- ・子どもたちの学校生活における意欲や満足度の調査を行う「ハイパーQ U検査」の実施回数拡大
- ・スクールカウンセラーの配置拡大、スクールソーシャルワーカーの新たな配置
- ・新たにPTA会費、児童生徒会費、クラブ活動費を援助の対象とする就学支援の充実
- ・全小学校におけるフッ化物洗口の実施
- ・市立図書館のAV室音響機器更新など施設機能の充実
- ・国指定史跡「キウス周堤墓群」の史跡周辺地区の測量調査および試掘調査の実施
- ・小学校高学年を対象としたイングリッシュキャンプの実施